



倉澤キャンパス長（左）から卒業証書を受け取る生徒＝第一学院高校富山キャンパス

9月度卒業式 女子1人巣立つ

第一学院富山キャンパス通信制の第一学院高校富山キャンパスの9月度卒業式が26日、富山市新桜町の同キャンパスであった。高校中退を経て入学し、アルバイトで学費を稼ぎながら勉学を続けた総合学科3年の女子生徒（18）

が将来への一歩を踏み出した。

同キャンパスでは、入学時期のずれや在学期間の確保などの理由から毎年、9月度卒業式を実施している。この日は保護者や教員、生徒15人が出席。倉澤弘明キャンパス長が卒業証書を手渡し「突き抜けた笑顔が、みんなを笑顔にしてくれた。今後の活躍を期待し、応援している」と激励した。

この生徒の母親（41）は「お母さんへのプレゼント、卒業証書と笑顔をありがとう」と話し、生徒は母親や教員らに「心の支えになってくれたのは家族だった。この学校を選んでよかった」などと涙ながらに感謝の言葉を述べた。学校生活を振り返る映像の上映や花束贈呈もあった。

この生徒は県内の別の高校に1年半通学したが、体調不良などの理由から中退。昨年春に同校に入学し、アルバイト

で学費を稼ぎながら1年半通った。今後は県内の介護施設に勤め、資格取得を目指して勉強も続けるという。